

三ツ沢公園再整備基本計画（案）について

三ツ沢公園再整備基本計画(案)について、その概要をご説明します。

2 現在の三ツ沢公園の施設配置



面積:約28ha

3 経緯

- 陸上競技場は築45年、ニッパツ三ツ沢球技場は築60年を超えるなど、公園施設は、全体的に老朽化が進行しています。
- ニッパツ三ツ沢球技場は、観客席に屋根が無く、Jリーグのスタジアム基準を満たしていません。
- このような状況をふまえ、三ツ沢公園の再整備の検討を進めてきました。

令和4年6月	三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)公表
令和4年8月～9月	三ツ沢公園の再整備に向けた基本的な考え方(案)に対する 市民意見募集実施
令和4年12月	三ツ沢公園再整備基本構想(案) 公表
令和5年11月～12月	三ツ沢公園の再整備に向けたサウンディング型市場調査
令和7年6月	基本構想案の一部(施設配置)の見直し

4 再整備の基本的な考え方



(1) スポーツのできる公園の充実

オリンピックを開催した歴史ある運動公園として、球技場利用の高い需要に対応するとともに、質の高いスポーツ体験のできる公園を目指します。



(2) 健康増進・地域の魅力づくり

誰もが日常的な健康づくりに取り組める機会や遊び場・憩いの場などを充実させます。また、イベント開催など、にぎわいの創出を図ることで地域の魅力を高めていきます。



(3) 花と緑の充実による公園の魅力向上

桜山の再生をはじめ、四季を感じながら、いつ訪れても居心地の良い、花と緑にあふれた公園を目指します。



(4) 災害時における防災機能の充実

広域避難場所や広域応援活動拠点としての防災機能の充実を図ります。

5 再整備の内容

トップレベルのスポーツをより身近で快適に体験できる新球技場を核に、
スポーツを通じて人々が集い、豊かな時間を過ごせる公園

(1)新球技場

現在の陸上競技場の位置に臨場感のあるコンパクトな球技場を新たに整備
(陸上競技場は深谷通信所跡地公園に整備)

(2)中央広場

新球技場と一体となった広場を新たに整備

(3)ニッパツ三ツ沢球技場

市民利用を中心とした活用に転換

(4)桜山

老木化した桜の再生などを実施

(5)トリムコース

桜山や新球技場コンコースを含む複数のコースを整備

(6)レストハウスなど

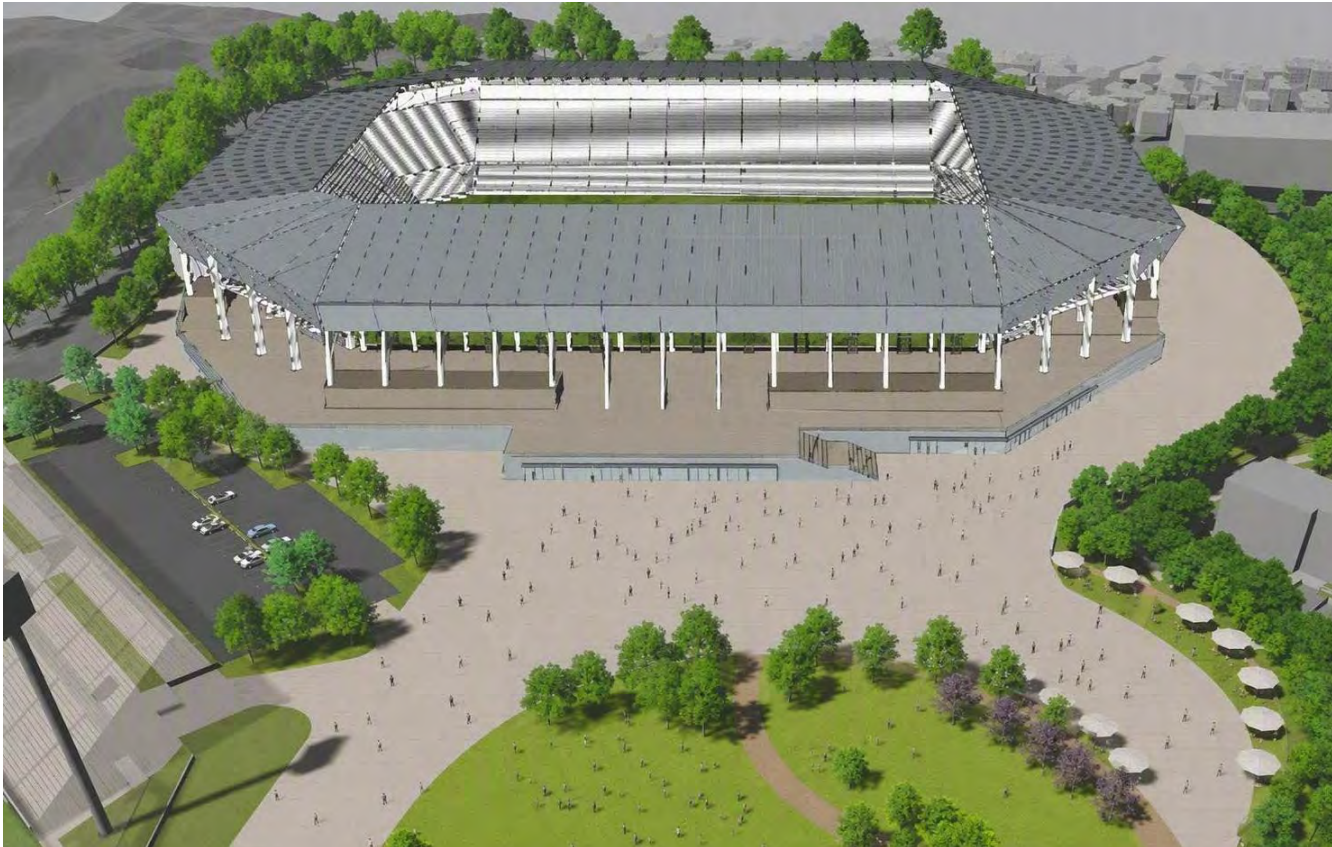
現状機能を維持し、必要に応じて改修を実施

※広域応援活動拠点としての機能を充実



5 再整備の内容 (1)新球技場

- ▶ 収容人数2万人程度の機能的でコンパクトなスタジアムとします。
- ▶ 現在の球技場の特徴であるピッチと観客席の距離が近く、トップレベルの選手の動きや表情をリアルに感じられる高い臨場感を継承します。
- ▶ ゆとりある座席配置、飲食・物販店舗の充実、VIP席の増席等ホスピタリティ機能を向上させます。



※パースはイメージ

5 再整備の内容 (2)中央広場

- ▶ 公園の中核となる施設で、球技場と連動させながら活用し、イベント開催や飲食提供など、人々の集まる、にぎわいの拠点とします。
- ▶ 試合前後の観戦客の滞留空間となることで、周辺道路等への混雑の緩和を図ります。
- ▶ 日常は憩いの場、子供たちの遊び場として、居心地のいい場所とします。



5 再整備の内容 (3)ニッパツ三ツ沢球技場

- ▶ Jリーグなどの試合は、新球技場で実施することにより、市民利用など、これまで受け止めきれなかった利用ニーズに対応します。



5 再整備の内容 (4)桜山

- ▶ 老木化した桜の再生、四季を感じられる植栽の充実、緑陰で居心地よく過ごせる空間づくりを行います。
- ▶ 新球技場に、桜山の眺望を楽しめる新たなスポットを創出します。



桜山再生



桜山の新眺望スポット創出

5 再整備の内容 (5)トリムコース

- ▶ 桜山や新球技場コンコースを含む複数のコースの整備により、日常の散歩や健康維持、ランニング、リハビリテーションなど、多様な利用に対応します。



桜山や新球技場内のコンコースを含む複数のコース



緑陰で気持ちよく利用できるトリムコース



新球技場コンコースとつながる全天候型コース ※パースはイメージ

5 再整備の内容 (6)レストハウスなど

- ▶ レストハウス、園路、テニスコート、駐車場など、現状機能を維持し、必要に応じて改修を実施します。



第二レストハウス（現状写真）



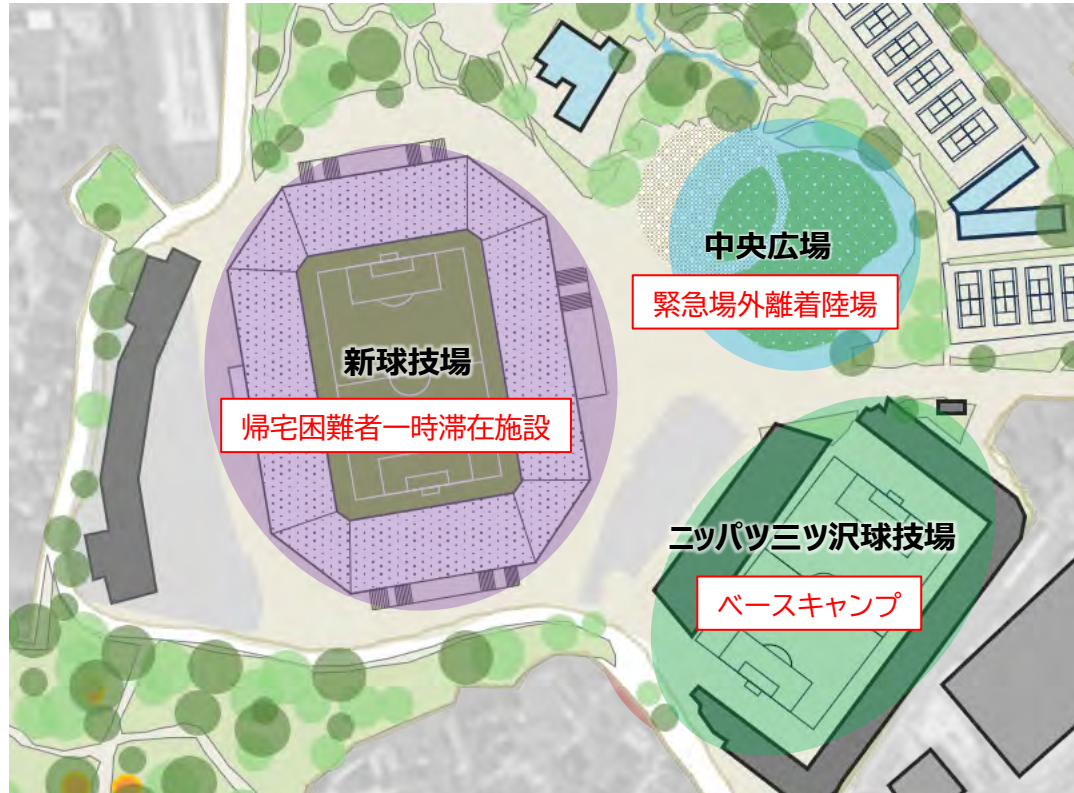
テニスコート（現状写真）



第三駐車場（現状写真）

5 再整備の内容 防災機能の充実

- ▶ 中央広場、ニッパツ三ツ沢球技場は、災害時に自衛隊などが円滑に活動を行えるよう、広域応援活動拠点としての機能を確保します。
- ▶ 新球技場は、帰宅困難者のための一時滞在施設として、災害時には休憩スペースや情報の提供などにより、帰宅困難者を支援できるよう検討を進めます。



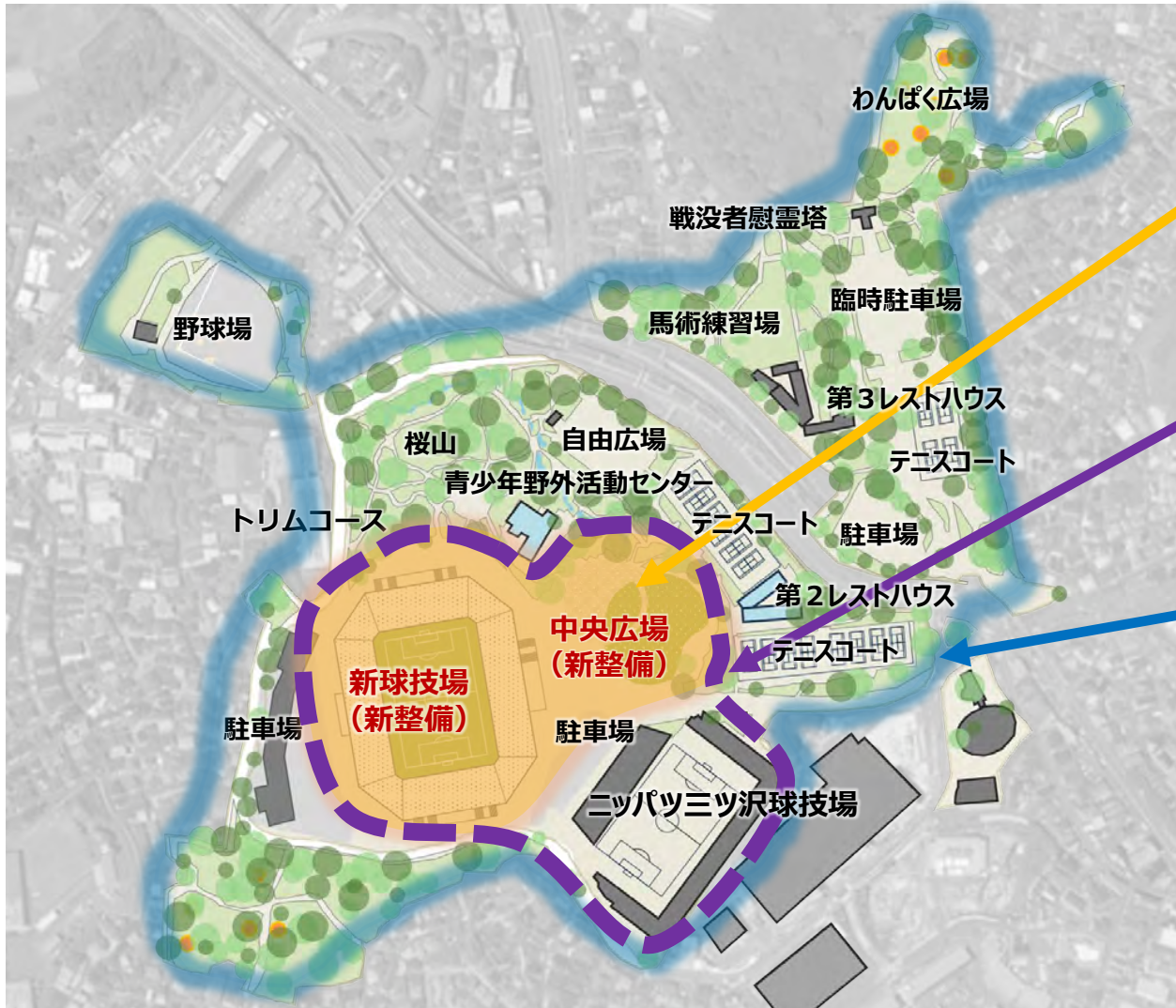
広域応援活動拠点の想定配置



緊急場外離着陸場のイメージ ※パースはイメージ

6 事業手法

- ▶ 新球技場、中央広場の整備・管理運営及びニッパツ三ツ沢球技場の管理運営については、本市負担の平準化が図られ、民間活力の導入が期待できるPFI手法により事業を進めていきます。
- ▶ PFIによる事業期間は30年間を基本とします。



PFIによる整備範囲

新球技場及び中央広場

PFIによる管理運営範囲

新球技場、中央広場、ニッパツ三ツ沢球技場

その他の公園施設

本市が段階的に再整備を実施
新球技場等とその他の公園施設の管理運営は
連携して実施

PFIの整備費

約460億円

※ 令和8年時点で算出
今後の物価上昇・金利は除く

新球技場:約380億円
解体撤去:約15億円
広場、インフラ等:約40億円
設計・調査等:約25億円

- 整備費については、toto助成や国費の最大限の活用に加え、ふるさと納税等を活用し、新球技場をホームスタジアムとするチームやスポンサー企業、一般市民等から寄附を募り、本市負担をできる限り抑えます。
- 管理運営費については、ネーミングライツ収入、使用料収入の確保により、財源確保に取り組めます。

8 PFI事業のスケジュール(予定)

令和8年度	基本計画確定(9月) PFI実施方針公表
令和9年度	入札公告
令和10年度	事業者決定
令和10～14年度	設計・工事
令和14年度	新球技場、中央広場竣工

※ 令和9年に債務負担行為、令和10年に契約の締結に関する議案を提出する予定です。

令和15年度以降、ニッパツ三ツ沢球技場、桜山、トリムコース、レストハウスなど周辺施設を改修していきます。